

## ◆子宮頸癌予防ワクチンの公費接種のお知らせ

わが国で、毎年約3,000人もの尊い命を失っている子宮頸癌は、発癌性のヒトイボウイルスが原因であることが突き止められ、感染を予防するワクチン(商品名:サーバリックス)が開発され、日本でも、H21年12月にはワクチン接種開始となりました。ワクチンは3回(2回目は1ヵ月後、3回目は6ヵ月後)の接種となります。

子宮頸癌の撲滅に向けて弘前市では、H23年2月1日からH24年3月31日の期限付きでワクチン接種を公費負担することに決定しました。対象は弘前在住のH6年4月2日からH10年4月1日に生まれた女性(中学1年生～高校1年生)です。

当院でもワクチン接種を行っていますが、詳しくは、2月1日付けの弘前市広報か、健康推進課(☎37-3750、土・日・祝除く)へ。

平成23年2月分原稿

はらクリニック院長 原 徹